



平成 30 年度 坂小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

10月2日（火）に開催された「平成30年度坂小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日 時	平成 30 年 10 月 2 日（火） 19:00～20:30		
会 場	坂公民館		
参加団体 (13名)	市山新田自治会 三ツ谷自治会 笹原自治会 錦田中学校	坂幼稚園 坂幼稚園 PTA 坂小学校 保健委員会	錦田地区地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会 保護司

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「現在の状況を確認しよう」
- 4 「地域でできることを考えよう」
- 5 「話し合いの内容発表」
- 6 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

各団体間の情報やお願いしたいことなどを共有しました。

■主な情報交換の内容

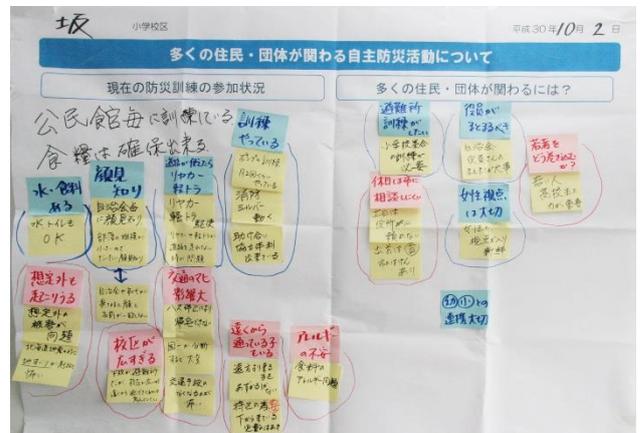
三ツ谷自治会	10月14日に天神社と山神社の祭りがあります。13時30分からの演芸会で東京オリンピックの前座で三味線を弾く方の演奏があるので、是非来てください。
坂幼稚園	幼稚園の屋上に鐘がある。鐘が鳴ったら、幼稚園に何かがあったということなので、ご承知おきいただきたいです。
笹原自治会	10月14日の山神社の祭りで子どもは地域の宝事業で、未就学児童2人のお祝いをします。屋台も出るので来てください。
坂幼稚園 PTA	10月14日にベルマークの集計をします。持っている方は、幼稚園に直接持ってきていただくか、幼稚園に関係のある方に渡してください。
坂小学校	11月15日に特認校（学区に関係なく通学できる制度）の説明会を行いますので、興味のある方にはご紹介ください。11月25日は第二回廃品回収がありますので、ご協力ください。
錦田中学校	11月3日に年に1回のPTAバザーがありますので、ご参加ください。出品できるものがある方は事前にお持ちください。
三ツ谷自治会	10月21日に見晴学園で子どもたちの作った作品の展示があります。一般の方の参加をお願いします。10月28日に錦田ふれあい広場がある。そば打ち体験や箱根西麓野菜の無料配布があるので、是非来てください。
錦田地区地域包括支援センター	10月30日に認知症サポーター養成講座があります。参加された方は認知症サポーターとして活動いただきたい。特定健診未受診の方が近くにいたら、健診を促してください。

「地域でできることを考えよう」のまとめ

今回の連絡会のテーマである「三島市のごみ量の現状と将来の目標」と「多くの住民・団体が関わる自主防災活動について」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、各テーマに分かれて意見交換しました。

	ごみ量の現状と将来の目標
	自主防災活動

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。



■グループ別意見交換のまとめ

グループA

ごみ量の現状と将来の目標

現在行っている、ごみ減量のための取組

さらにごみを減らすために何ができるか

現在の取組み

■生ごみをたい肥にしている ⇒ 坂地区の特徴

- ・農家なので野菜クズ生ゴミはたい肥にしている
- ・生ゴミの地中化
- ・生ごみはコンポストへ入れる

■リサイクルしている

- ・紙は大きさに関わらずミックス古紙に出す
- ・リサイクルできるものを知る
- ・雑用紙は再生へまわす

■生ごみの水分を切っている

- ・生ゴミの水分をしっかりと切る
- ・牛乳パックなどは施設に持ち込んでいる

■分別している

- ・分別を心がける（ひとりの力が大切）
- ・自由に出入りができるのでよい

【ゴミ出しの知識】

- ・シュレッダーゴミは透明ビニール袋でも出せる
- ・飲食店からの食べ残しは持ち帰りできない
- ・外部の人がゴミを捨てていかないようにゴミ箱を置かない様にした
- ・昔はペットに残飯をあげていた
- ・寺の花などは事業者扱いでゴミに出すことになっている
- ・燃えないゴミ（カサなど）を出されてしまう事がある

何ができるか

●ごみ減量を心掛ける

- ・さらに分別に気を配る
- ・ゴミをためこまないような声掛け

●ゴミの有料化を進めてはどうか

- ・事業所ゴミの有料化で実際意識は変わった
- ・ゴミの有料化をする
- ・負担にならない程度の有料化をしてはどうか

●食品ロスを削減する

- ・子どもがいると余分に作ったり残すことが多くなる
- ・食品ロスの削減を進める
- ・賞味期限と消費期限を知る事で不要な廃棄を減らす

●出し方についての工夫

- ・ゴミの水分を切る
- ・お茶ガラやコーヒーかすを乾燥してから捨てるようにする

●買い方についての工夫

- ・買いだめをしない。使うものだけ少しずつ買う

●食べ方についての工夫

- ・3010 運動をしている自治体もある
- ・消費期限の長いものでなく短いものを買う

現在の防災訓練の参加状況

多くの住民・団体が関わるには？

現在の取り組み

■公民館毎に訓練している

■食料などは確保できる

- ・水・食料はある
- ・水・トイレもOK

■顔見知りであることは大切

- ・自治会毎に顔見知り
- ・部落の規模が小さいのでだいたい顔見知り
- ・自治会や年代が異なると顔と名前が一致しない

■道路が使えたらリヤカー・軽トラ

- ・リヤカーや軽トラを駆使する
- ・リヤカーや軽トラが道路を走れない時が問題

■訓練やっている

- ・ポンプの訓練月2回くらいやっている
- ・助け合い協力体制出来ている

《気を付けること》

= 想定外も起こり得る

- ・想定外の被害が問題
- ・北海道地震のように地滑りが起きると怖い

= 校区が広すぎる

- ・学校が避難所だが、校区が広いので遠くから逃げてくるのは考えにくい

= 交通のマヒの影響は大きい

- ・バス停止により帰宅できない
- ・国1が分断すると大変
- ・交通手段のなくなるのが怖い

= 遠くから通っている子もいる

- ・遠方よりくる子を預かるしかない
- ・特区の為(要)下から来ている児童の把握

= アレルギーの不安

- ・食料のアレルギー問題

関わっていくためには

● 役員がまとまるべき

- ・自治会役員さんのまとまりが大事

● 女性視点は大切

- ・女性の視点が入り新鮮

● 避難所訓練がしたい

- ・小学校集合の訓練が必要

● 休日は市に相談しにくい

- ・土日は役所に頼めない
- ・土日、職員を派遣している

● 若者をどう巻き込むか？

- ・若い人高校生の力が重要

● 幼小との連携大切

○ 来年坂小学校区での避難所開設訓練をやってみようと話している